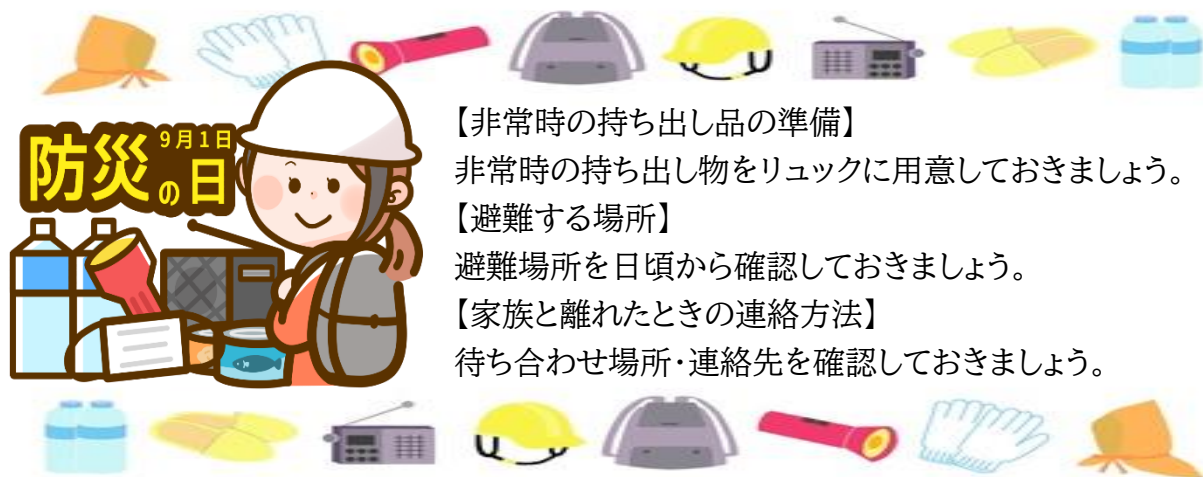




令和7年8月29日  
九度山保育所

まだまだ残暑が厳しいですね。大人も子どもも、夏の疲れが出やすい時期です。体調管理をしっかりしていても、病気や怪我は、突然です。また、災害もいつ起こるかわかりません。リスク回避をするためにも、事前準備が必要です。冷静に行動できるように、普段からできることを心がけましょう。



【非常時の持ち出し品の準備】

非常時の持ち出し物をリュックに用意しておきましょう。

【避難する場所】

避難場所を日頃から確認しておきましょう。

【家族と離れたときの連絡方法】

待ち合わせ場所・連絡先を確認しておきましょう。



9月9日は救急の日です。ご家庭に救急箱はありますか？  
怪我をしたときにすぐに使えるように、年1回は確認をしてみませんか？

- \*絆創膏\*ガーゼ\*テープ\*ピンセット\*体温計\*綿棒
- \*包帯\*薬\*爪切り\*はさみ\*脱脂綿\*マスク等
- ☆保険証も忘れずに

万が一の際は…

和歌山県の救急電話相談窓口は、下記のとおりです。

★#7119(救急安心センター事業)

急な病気やけがをした際に、救急車を呼ぶべきか受診すべきかなど、判断に迷った時に専門  
家からアドバイスを受けられます。

★#8000(携帯電話、プッシュ回線)または、073-431-8000(ダイヤル回線、IP 回線)

子どもの救急相談ダイヤル

夜間、休日に子どもが急病になった際、看護師や医師が症状に応じて対処法や受診する病院  
などのアドバイスを受けられます。

★073-426-1199(和歌山県救急医療情報センター)

和歌山県内の医療機関の診療情報を24時間提供しており、受信可能な医療機関の名称、所  
在地、電話番号を知ることができます。

※利用上の注意点

- ・案内された医療機関を受診する際は、必ず事前連絡をし、了承を得てから受診しましょう。
- ・いずれのサービスも、治療行為ではなく、相談やアドバイスを行うものです。